

中央大学附属高等学校

第1学年出張授業資料

「多様な社会に生きる」

—「価値・意味・秩序」「人生は青天井、一生青天井」、「一生勉強、一生青春」—

2024年10月25日(金)

10時45分～12時35分



開倫塾

塾長 林明夫

開倫塾日本語学校理事長・校長
公益社団法人経済同友会 会員

Q1：好きな言葉はありますか。もしあったら、自己紹介代わりに教えてください。

A：あります。たくさんあります。

- (1)「ブルドッグ魂」…食いついたら離すな
- (2)「練習で泣いて、試合で笑え」
- (3)「一所懸命」…「一つの所で命を懸けるくらい熱心に取り組む」
- (4)「スポーツの3つの宝」(小泉信三)



- ①「練習は不可能を可能にする」
- ②「フェアプレー」
- ③「よき友」



- (5)「独立自尊」(福沢諭吉)
- (6)「注意一秒、ケガ一生」
- (7)「歴史における個人の役割」(ロシアの革命家、プレハーノフ)
- (8)「持続する志」(大江健三郎)
- (9)「会った人は、皆友達」
- (10)「目には見えねど、心は近い」



(11)「価値・意味・秩序」

- ①「価値(大切さ)」…そのことはどのような「価値(大切さ)」があるか考える
- ②「意味」…「自分にとっての意味とは何か」「意味付け」
- ③「秩序」…では、どうするか。やるべきこと・やらないことを「自己決定」自分で決めたルールに従い、「高い志」をもって「自律的に行動」

(12)「人生は青天井、一生青天井」「一生勉強、一生青春(相田みつを)」

…人の潜在能力は無限大、死ぬまで無限大。ただし、それには一つだけ条件がある。それは、一生勉強し続けること、死ぬまで勉強し続けること



<ここでちょっと一休み「コーヒースタイル(1)」です>

皆様には好きな言葉がありますか。あったら3つ書いてください。

(1)

(2)

(3)

Q 2 : 高校の勉強は役に立つのですか。

A : (1)役に立ちます。中学校・高校で学ぶ、すべての教科は役に立ちます。

役に立たないことは一つもありません。では、どこで役に立つのか考えてみましょう。

(2)「大学・大学院で役に立ちます」

①大学・大学院では、中学校・高校の各教科の学習範囲をすべて学んだことを前提に、教育・研究活動が行われるからです。

②学校を卒業し、「仕事」や「社会的活動」「日常生活」「よく生きる」上で、すべて役に立ちます。役に立たないことは一つもありません。

○ですから、中学校・高校の「学校教科書」「辞書」「地図帳」「年表」「授業ノート」などは、決して処分しないこと。

折に触れ、一生かけて学び直すことをおすすめします。

(3)高校で行われる「教科外教育」も将来すべて役に立ちます。学校行事、部活動などに積極的に参加しましょう。

○日本人が礼節をわきまえ、礼儀正しく、規律正しく、他人のことを思いやり行動するのは、学校での「教科外教育」の成果と考えます。



Q 3 : 現代はどのような社会だと考えますか。そこで求められる能力は何だと考えますか。

A : (1)「知識基盤社会 (Knowledge-Based Society)」です。

①そこで求められるのは、「知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力」です。

②「知識」：小・中・高校・大学・短大・専門学校・専修学校・大学院等で学ぶ内容

「情報」：ICT、AI、Chat GPTなどで得られる情報

「技術」：テクノロジー

③これらを組み合わせ活用する能力

(2)「グローバル社会」

①そこで求められるのは、「多様な集団で交流する能力」です。

②国や地域、歴史や文化、制度、民族、言語、宗教、習慣、行動様式を異にする人々と「交流」する能力。「相手の立場を尊重」

③この前提は、自国のことば・歴史・地理・文化・伝統・よきなどをしっかり学ぶこと

(3)「課題山積社会」：「パンデミック」「地域紛争」「低頻度巨大災害」

①そこで求められるのは「高い志」をもち、「自律的に行動する実行能力」です。

②「課題解決能力」

(i)「問題は何か」

(ii)「原因の推定」



(iii) 「応急措置 (とりあえずどうするか)

(iv) 「システム変更 (しくみづくり)」

(v) 「仮説」「検証」

(vi) 「Plan (計画)」「Do (実行)」「Check (検証)」「Action (修正)」

③ 「自分で考える力」「批判的思考 (クリティカルシンキング) 能力」

○ 「新聞」を読んで考える力→「読解力」(読み解く力)



Q 4 : エッ、「読解力」が大事なのですか。

A : その通りです。

(1) 「読解力」とは、文字や数値、映像や情報を論理的・分析的に「読み解く力」です。

(2) 「読解力」を身につけるには

① 「辞書」を用いて「ことばの数」「ごいすう語彙数」を増やすこと「ことばは力」

② 「新聞」を毎日、30分以上読み、「自分で考える力」「批判的思考 (クリティカルシンキング) 能力」を身につけること。「英字新聞」を毎日読む

③ 「読書」を毎日、30分以上行い、「思慮深さ」「自省心」を身につけること

(3) 「図書館 (学校図書館・公共図書館・大学図書館)」を活用し、①～③に慣れ親しむこと



Q 5 : 高校時代に読んだ方がよい本はありますか。あったら教えてください。

A : あります。たくさんあります。

(1) 1冊目は、内村鑑三著「こうせい後世へのさいだいいぶつ最大遺物・デンマルク国の話」岩波文庫、1946年10月10日刊です。

○人は、死んだ後、後の世に何を遺せるのか。お金 (奨学金) か、仕事 (事業) か、作品か、教育か、生き方か

(2) 2冊目は、内村鑑三著「代表的日本人」岩波文庫、岩波書店 1995年7月17日刊です。

○では、日本を代表する5人 (①西郷隆盛、②上杉鷹山、③二宮尊徳、④中江藤樹、⑤日蓮) はどのような生き方をしたのか

(3) 3冊目は、皆様が大好きで、手から離すことができないスマホを世に出したアップルの創業者、「スティーブ・ジョブズ」の伝記です。

①書店や図書館に行くと、「スティーブ・ジョブズの伝記」がたくさんあります。

②ぜひ一冊手に取り、最後までお読みください。2～3回読むと、なぜ・どのように、スティーブ・ジョブズが、「アップルウォッチ」、「スマホ」、「アイパッド」、「アップルコンピュータ」などを世に出したのかがよくわかります。

(4) <読書の仕方>

- ①最初の 100 ページまでは、頑張って読む
- ②本は、ゆっくり、ていねいに、腰を落ち着けて読む
- ③本は最後まで読む
- ④好きな作家の本は、全集で読む
- ⑤本は何回も読む。本は 6 回読む
- ⑥気に入った「語句」や「文章」は、「書き抜き読書ノート」に書き抜いて何回も読み直す



<ここでちょっと一休み「コーヒーブレイク (II)」です>

皆様が今までに読んだ本で一番よかった本は何ですか。作者と本の名前、よかった理由を書いてください。

(1) 作者の名前

(2) 本の名前

(3) よかった理由(ポイント)

Q 6 : 大学進学に備え、高校時代に身につけておいた方がよいことがありますか。

A : (1) 中央大学はじめ、多くの大学では 1 学期(1 ターム)に 90 分の授業が 15 回行われ、1 回の授業について 4、5 時間の「予習」と「復習」が義務付けられています。

(2) 大学に入ってから「予習」の仕方、「復習」の仕方を考えるのもいいですが、高校時代から「予習」の仕方、「授業の受け方」「復習の仕方」などを考えておくのも、大学進学に向けてのよい準備となります。

(3) 「予習」

- ①まずは、「教科書」や「教材」などに何が書いてあるか知る
- ②授業ではどのようなことを学ぶのか知る
- ③「何がわからないかを、はっきりさせてから、授業に臨む」



(4) ①次の授業で学ぶ大切な内容について、予め学ぶ

- ②教科書に出てくる「ことば」で意味のわからないものがあったら辞書で調べる
- ③各教科の教科書に出てくる「重要語句」「用語」は、その「意味」「定義」を「ノート」に書き写すことをおすすめします

- (5)①「これは一体どのようなことなのか」を考えること
②「なぜ大切なのだろう」と考えること
③よくわからなければ、知らべてみる
- (6)①教科書や学校の授業で用いる問題集の問題は、できるだけ自分の力でノートに解いてみる
②教科書で紹介されている作品に興味を持ったり、気に入ったものがあれば、その全文を予め読んでおく
- (7)文学部、法学部や経済学部、商学部、総合学部など、文系学部に進学を希望する皆様は、日本史、世界史、地理、公民、政治経済などは、必ず履修し、高校の教科書レベルでOKなのでしっかり身につけておくこと。
- (8)①一番重要なのは「倫理」と考えます。
②日本や世界の思想家がとてもわかりやすく紹介され、大学の各学部の授業で一番役に立つ教科書なので、必ず履修してください。
③代表的な思想家の、ものの考え方や、著作が、一人ひとり紹介されるので、教科書と資料集を用いてしっかり勉強してください。
- (9)①「倫理」は「用語集」を手元において、よくわからない「語句」があったら調べてください。
②気に入った「思想家」がいたら、その代表的な作品を本屋さんで買い求める。
③そして、あまりよくわからなくても、最初の一行だけでもOKですから読んでみてください。
- (10)①「高校倫理」の教科書は、文系学部に進学する皆様にとって、「幸福の青い鳥」です。
②大学入学後は、「高校倫理の教科書」に出ている、日本や世界を代表する「思想家」がどんどん登場します。
③そのたびごとに「高校倫理の教科書」と「用語集」を出して「復習」、気になる作品があったら買い求め、最初の一行でもOKですから読んでみてください。
- (11)①大学や大学院卒業後も、折に触れ「高校倫理の教科書」と「用語集」を「学び直す」
②そして、気になる「思想家」が出てきたら、その代表作を買い求め、最初の一行でもOKですから読んでみてください。
③このようにして、「高校倫理の教科書」で紹介されている思想家の代表的な作品に一生かけて慣れ親しむ
- (12)①同時併行して、大学や大学院で学んだ専門分野の「教科書」や「論文」「授業ノート」などを大学・大学院を卒業後、一生かけて折に触れ学び直すことをおすすめいたします。



②自分の「仕事」や「社会的な活動」を、コツコツ継続して行い、専門性を深めると同時に、大学・大学院で学んだ専門分野も、折に触れ学び直す。

③これらに加えて「高校倫理の教科書」で紹介されている、日本や世界を代表する思想家の代表作(古典とよばれる作品が多いと思われます)を、折に触れ学び直すことをおすすめします。

○皆様の人生を豊かにし、充実したものにすると確信します。



Q 7 : 社会で成功するためのスキルは何ですか。

A : (1)「学んだことを、自分のことばでいえる(表現・説明できる)」こと。

(2)高校・大学では、授業内容をしっかり「予習」。「授業」には、しっかり参加。授業後に「復習」をしっかりと行い、「定着」をはかる。そして、「深い理解」を目指す。

○「深い理解」とは、「学んだことを、自分のことばでいえる(表現・説明できる)」こと。この意味での「深い理解」が最重要。社会でも役に立ちます。

(3)「仕事」や「社会的活動」を行う際には、「やりたいこと」「できること」「しなければならないこと」を自分の力で考え、「志」を高くもち、ものごとの本質を深く考えた上で、自律的に行動する。「自分のことばでいう(表現・説明する)」

○「自律的に行動する能力」を身につけることが大切です。

○「予習」、「よく話し合う」、「復習(省察)」→「自分のことばでいう(表現・説明する)」

Q 8 : そもそも仕事とは何ですか。

A : (1)「製品やサービス」をお客様に提供すること。

①すべての仕事には、お客様がいます。誰がお客様か、お客様を「定義」することが大切

②「どのような領域の仕事なのか<事業領域>」を考える。

③お客様の困っていること、お客様の課題を解決することです。

(2)「製品やサービス」を、お客様が買いやすい価格(Price)で提供すること。

(3)「製品やサービス」を、お客様の便利な場所(Place)で提供すること。

(4)「製品やサービス」の「販売、促進(Promotion)」がお客様とのコミュニケーション」になっていること。

「マーケティングの4P」と「顧客にとっての意味」

マーケティングの4P	「お客様」にとっての意味
Product(製品・サービス)	Solution(課題解決)
Price(価格)	Cost(余り負担にならないこと)
Place(場所・流通)	Convenience(便利なこと)
Promotion(販売・促進)	Communication(コミュニケーションになっていること)

Q 9 : 組織をまとめる「リーダー」とは、どのような人ですか。

A : (1) 「リーダー」とは、「ふり返ってみると、うしろから人々がついてくる人」

(2) 「高い志」と「危機感」をもち、「本当の問題」とは何かをつきつめて考える。その「原因を推測」、「なすべきこと」と真正面から取り組む人

(3) 「サーバントリーダーシップ」という考えもあります

○ 「リーダー」とは、「サーバント」、執事のように「メンバーの皆様には仕える人」

(4) 「一人ひとりのメンバーのよさ、潜在可能性を限りなく引き伸ばすことのできる人」

(5) 「人の悪口をいわない人」

(6) 「耳に痛いことをいう人は尊い人とする人」 — 「自分以外、皆師」 —



<ここでちょっと一休み「コーヒブレイク (Ⅲ)」です>

皆様は、どのような人がリーダーだと考えますか。

リーダーの条件は何だと考えますか。3つ書いてください。

(1) _____

(2) _____

(3) _____

Q10 : 最後に一言どうぞ。

A : (1) 「自分のよいところ」「自分の潜在可能性」は、自分の力で見つけ出し、遠慮しないでどんどん伸ばす。

(2) ①高校時代に学ぶすべての教科は、高校時代でしか学べない。

②折角の高校時代、全教科の「予習」「授業」「復習」にしっかり取り組み、「深い理解」、つまり、「自分のことばでいえる(表現・説明できる)」ことを目指す。

③高校時代の友達は、一生の友達。先生方は一生の恩師

「一人ひとりのよさ」をしっかり探し出し、胸に刻み、高校生活を！

(3) 「健康第一、心の健康、身体の健康」

「定期健康診断」を続けて受け、最大活用を！

「生涯現役」

「いつまでも若々しく生きる」

